

向け、整備士への教育や補給部品の供給体制にも手を着ける。

補給部品の供給体制整備

モノリクス

AGVけん引機器が好評

売り上げ、3年で3倍に



カゴ台車や6輪カートなどをAGVと連結

「2024年問題」を受け、モノリクス（徳島県徳島市、東員郡文京区）の無人搬送車（AGV）用けん引機器の導入が増えている。1～3月の売り上げは、21年1～3月と比べ3倍に拡大。今後も需要が見込まれることから、展示会などを通してPRを強化していく。

同社の製品は、カゴ台車や6輪カートなどを各メーカーのAGVと連結。物流センターや倉庫内での自動搬送を実現する。台車にワンタッチで取り付け可能な、これまで台車の取り付け・取り外しが面倒なため手で行っていたものも自動化できる。左右に振れやすい全自在輪のキヤスタードも安定して走行する。自動切り離し機能があるため、指定場所に台車を置いて切り離し、AGVのみ戻ってこられるため、効率的な搬送が可能。連結部分

の高さを変えられることから、様々なタイプのAGVや、荷主によって異なるカゴ台車に対応する汎用性も特徴だ。現場レベルでの付加価値が大きく、モノリクスによると、2年で販売数が20台だったメーカーのAGVが、けん引機器製品との組み合わせにより1年で100台売れたという。

このほか、庫内でAGV同士が衝突しないようにする「交差点制御」も可能。コストを掛けて庫内に通信網を構築しなくても、交差点付近にマーキングを施すことにより低コストで制御できる仕組みだ。

倉庫の大規模な自動化にはコストが掛かるが、顧客のニーズを把握し、既存のハードを生かす機能の製品を提案をしながら、低コストで現場の省力・自動化を実現する。

徳島社長は「当社のけん引機器はAGVメーカー総代理店として、顧客のニーズに最適なAGVを選んでもらえるようにしたい」と話している。（山根藍利）

査り

X Mile（クロスマイル）、野呂克之社長、東京

と、24年問題を「意識している。企業は55・5％と半減している。傾向が明らかになった。」

トップ。これに「運賃交

など従業員への働き方に関する対策が上位に入った。

対象にインターネットで実施。全国の20～70代の男女2000人から回答を得た。

滋賀・竜王にマルチ型

県内最大規模 中継輸送など対応

クレドアセット

不動産開発のクレド・アセットマネジメント（塩田

徳隆社長、東京都港区）は、23日、滋賀県竜王町で県内最大規模のマルチテナント（複数企業入居）型物流施設「CREDO 滋賀竜王」

の起工式を行った、と発表。竣工は2025年6月の予定。敷地面積6万7千平方メートル、鉄骨造りの地上3階建